

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立竜王南小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定された一部分」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語・算数ともに平均正答率は全国と同程度であり、定着がみられます。
- ・国語の漢字の読み書きでは高い定着があり、日頃からの継続した取り組みの成果がみられます。また「読むこと」でも、文章を読んで理解したことに基づいて、人物像を具体的に想像したり、自分の考えをまとめたりすることがよくできていました。一方で、目的や意図に応じて日々の生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討したり、文章の主語と述語の関係を捉えたりすることに課題がみられます。
- ・算数では、特に「数と計算」が高い定着があり、日頃からの継続した取り組みの成果がみられます。また、「変化と関係」において、速さの意味について理解して計算すること、「データの活用」においては、円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることがよくできていました。一方で、「図形」では、直方体の見取り図について理解し、図を描くという面で課題がみられます。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・よい傾向がみとめられる項目
「携帯電話・スマートフォンなどの使い方について家の人との約束を守っている」「自分には、よいところがある」「将来の夢や目標を持っている」「友達関係に満足している」「普段の生活の中で幸せな気持ちになる」「これまでに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間になっていた」「友だちの間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができた」という項目で、肯定的な割合が高くなっています。
- ・課題となる項目
「朝食は毎日食べている」と答えた児童の割合が若干低くなっており、「あまり食べない」と答えた児童の割合が全国平均より若干高くなっています。「PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用したか」について、毎日使用していると答えた児童の割合が全国と比べ低くなっています。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・授業の中で、児童が自ら考え、まとめ、表現する場面を計画的に設定し、思考力・判断力・表現力をさらに伸ばしていきます。また、対話を通して多様な表現を認め合いながら、自己の考えを広げ、深めることができる学びにつなげていきます。
- ・児童が個々のペースで「やる気こん気ドリル」に取り組むことを通して、粘り強く課題に取り組む姿勢と国語、算数の基礎基本の定着を図っていきます。
- ・家庭学習強化週間での取り組みを生かし、計画的に学習を進めたり、家庭学習の振り返りを行ったりすることで、継続的に家庭学習の習慣を身に付けられるようにします。
- ・授業や家庭学習においてICT機器の活用をより一層推進し、ICT機器の適切かつ効果的な使用方法を考え、児童の個別最適な学習、協働的な学習につなげていきます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・「家庭学習の手引き」を活用し、今後も『学年×10分+10分』の家庭での学習時間が定着するよう努めてください。また、ご家庭でもお子さんの頑張りを励まし、称賛の言葉をかけてあげてください。
- ・朝食の摂取や十分な睡眠など、お子さんの一日の生活リズムを見直し、望ましい生活習慣を定着させるために、これからもお子さんと「我が家のルール」について話し合う機会をもってください。
- ・読み聞かせや親子読書を行ったり、音読を聞いたりすることで、読書に親しむ機会を増やしてあげてください。
- ・その日の学校での出来事や勉強したことについて、親子で会話する時間をとるようにしてください。